

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年10月25日(2012.10.25)

【公開番号】特開2010-148094(P2010-148094A)

【公開日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【年通号数】公開・登録公報2010-026

【出願番号】特願2009-240433(P2009-240433)

【国際特許分類】

H 03 F 3/45 (2006.01)

【F I】

H 03 F 3/45 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月7日(2012.9.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

マルチ・モードで動作可能な増幅器において、

第1及び第2の電圧入力と、

第1及び第2の双方向性の電流出力であって、実質的に同じ振幅と実質的に同じ極性を有する双方向性の第1及び第2の電流出力と、

を備え、

前記増幅器が、前記第1の双方向性の電流出力、及び、前記第2の双方向性の電流出力が、一緒に結合されるときに、第1のモードで動作し、

前記増幅器が、前記第1の双方向性の電流出力と前記第2の双方向性の電流出力の1つが、前記第2の電圧入力に結合されるときに、第2のモードで動作する、

ことを特徴とする増幅器。

【請求項2】

請求項1記載の増幅器において、該増幅器は更に、第3の双方向性の電流出力を備え、該第3の双方向性の電流出力は、実質的に第1及び第2の電流出力の振幅と同じ振幅を有し、該第3の双方向性の電流出力は、第1及び第2の双方向性の電流出力の極性と実質的に反対の極性を有する、

ことを特徴とする増幅器。

【請求項3】

請求項1記載の増幅器において、前記増幅器が、

前記第1の双方向性の電流出力と、前記第2の双方向性の電流出力の1つが、フローティング(浮遊)状態であるときに、第1のモードで動作する、

ことを特徴とする増幅器。